

1 年学年だよ

吹田市立第二中学校 第一学年
2013年11月12日(火)発行
No.23 連音特集⑤

～みんなの感想から、一部を紹介します～

※紙面の都合上、一部しか紹介できなくてごめんなさい。

・自分でもびっくりするくらい楽しかったです。楽しかったから余計に大きな声が出たと思います。みんなもすごく頑張ってくれたので、最初は正直昼休みもなくなるし、イヤだなーって思っていたけど、今は達成感でいっぱいだし、パートリーダーをやっていて良かったと思っています。楽しかったです。



・メイシアターの中に入るとすごく大きい舞台と席があってビックリしました。そして他の学校の合唱を聴いていて、感動する歌もあれば、楽しくなれる歌もありました。そうこうしているうちに、二中の出番がきました。緊張の中、舞台にあがると、メチャクチャ緊張して、最初の「ぼっ」があまり出ませんでした。でも、そのままだと歌えなくなるので頑張って歌いました。高い音程の部分は、難しく大変でした。でも「いつだって僕らは」になって、歌い出しのとき、席の一番後ろで先生たちが「思いっきり楽しんで歌おう！」と書かれた大きな紙を広げていました。それを見て文字を読むと心の中が「ジワジワ」してきて、「うるうる」なり、泣き出しそうになりました。でも我慢して笑顔を作りました。声がメイシアターに鳴り響いたかわからなかったけど、歌が終わり席に戻ると荒井先生が泣いていました。私たちの歌で泣いてくれる人がいるのは毎日の努力があったからだと思いました。すべてを出し切れたので良かったです！！

・「二中の代表として恥じない合唱をする」と目標の紙に書いた私ですが、本当に字のとおりのできたと思います。自分の中では午前の部の中で一番上手に歌えていたと思うし、午前の部の中で一番大きな声で迫力があったと思います(笑)。

・声がかれるくらい大きな声でキレイに強弱をつけて練習の時から頑張りました。家では勉強しながらや、お風呂に入っているときなど、ヒマだったら歌いました。

最初は面倒くさいと思っていたが、学年練習などをしていっていると、真剣に歌っている友達を見て、「あっ私も頑張らない」という気持ちになりました。一番思い出に残っていることは、授業のときにパートで分かれて円になって顔を見ながら練習をしたことかな？一人一人の顔が見え、私よりとてもキレイに歌っている子を見ると、私もなぜかつられるように歌っていました。あの練習がなければみんなの表情を見れず、私も小さな声で、ぼそぼそ歌ってただけだと思います。今日まで歌の練習につきあってくれた先生方、ありがとうございました。

・自分が頑張ったところはたくさんあるけど、一番頑張った部分はソロの部分です。男子五人で一つの部分を歌うのはとても緊張していたけど、本番は舞台に立っても全く緊張しませんでした。何より本番はとても楽しかったです。周りの人がやる気で声が大きかったので、次第に自分も大きな声が出て、終わったときにはとても楽しかったです。学年が1つになれたような気がしたので良かったです。

・二中もすごかったけど、やっぱり他中もすごいなあと考えた。なぜなら演奏したり、手話をしたりいろんな工夫があったからです。今回は二中の代表として他中に負けないくらい頑張れたと思う。歌っているときは緊張したけど、歌い終わってからはとても気持ち良かった。やっぱり練習の積み重ねが本番につながるということを感じた。残りのどんな行事も練習を大切に頑張りたい。合唱コンクールもこういう練習ばかりだから、1分1秒を大切に練習を励もうと思った。個人的に今回のコンクールで二中が一番最高だと思う。他の学校も良かったけど、きつい練習をしてきた二中が一番だと思う。



・自分なりに感じたことは「自分たちはやればできるんだ。」ということです。授業時間は口を開けていない人や、すぐにしゃべったりする人や、ふざけばなしな人がいて、なかなかスムーズに進みませんでした。ラストの音楽の授業でも一生懸命頑張っている人とふざけている人とで分かれてしまい、クラスの雰囲気がよくありませんでした。でも学年練習に入り、皆なぜか顔がキリッとしていき、一回一回の練習を一生懸命頑張ることができてきました。そんな中、迎えた今日の日。本当に本当に一人一人が大きな声を出し、いい歌を届けるんだという意識が高まったせいか、「いつもよりよく仕上がった歌を歌えている！」と自分でも感じました。そこで「なんや、自分らってやればできるやん。」と思ったのです。一年生のこの時期だからこそ感じたことが次につながるができるいい舞台だったと思います。次の行事にも、「自分たちはやればできるんや」と自信を持って頑張りたいと思います。



・ 連合音楽会をすると聞いたときは、「え〜」とか思ったけど、練習していく間に楽しいと思うようになった。「面倒くさい」と思うときもあったけど、本番が近づくとつれ、あせってきたりもした。

そして今日、最初の さんのスピーチの「笑顔で帰りたい」という言葉通りに笑顔で帰れたから良かった。歌っているときに、後ろの方で先生たちが作ってくれたやつをみたら、嬉しくなってテンションがあがったりもしました（笑）。歌い終わったとき荒井先生を見たら泣いていました（笑）。でも本当に良かったです。

・ 二中の代表として連音で頑張っって声を出せたと思う。自分的には 1 組〜3 組まで全員二中代表として頑張れたと思う。なぜなら一人ひとりがしっかり声を出し、全力で歌いきったからです。一番良かったところは始まる時に足を広げたところです。そこはみんなそろっていました。ここは絶対、午前の部で一番だったと思います。連音は全力を出して歌えたいし、PLとして、代議員として引っ張って行けてよかったです。



・ 一番驚いたのは歌い始めたときに大ホールの一番後ろで先生たちが垂れ幕をかけてくれていて、それに書いてあったのが「思いっきり楽しんで歌おう」でした。私は少し笑いそうになったけど、その言葉のとおり楽しんで大きい声を出せたので良かったです。歌が終わったあと、自分の席に戻ると荒井先生が感動して泣いていたのでそんなにいい歌を贈ることができたから良かったと思いました。次、そういう機会があれば、付き添いの先生を全員泣かす歌を歌いたいです。

～ 保護者の皆様へ～

多くの子どもたちが「楽しかった」「気持ち良かった」と書いていました。中途半端にやった人からは、そのような言葉はできません。大変かもしれないけど、全力でやると楽しいし、疲れも心地よいんだと思います。本当にみんなの素直さ、温かさが歌になって表れていました。我々教師も、今回の行事を通してまた少し子どもたちとつながれた感じがしています。本当に目の輝きがきれいな、素敵な子どもたちですね。子どもたちから保護者の皆様の愛情を感じます。「卒業までずっと一緒にいたい。」心から強くそう思いました。

さて、文化祭、校外学習、連音と続いた行事も一段落しましたが、最も大切なのは日々の生活を大切にすること。まだまだ学年では思いやり欠ける発言や行動が見られますし、ちょっとした悪ふざけがエスカレートしてプレーキがかからないといった課題も抱えています。我々教師はそういった課題からも目を背けず、子どもたち一人ひとりの素敵な将来のために、粘り強く真摯に向き合っていきたいと考えています。この学年はプラスの相乗効果が生み出せる学年です。文化祭でも、大きな声で真剣に役を演じる生徒が、その影響の輪をまわりに広げていきました。今回の連音でも、一生懸命心をこめて歌う生徒が、その影響の輪をまわりに広げていきました。この学年の生徒たちは良いものを吸収できる素直な心を持っています。現在、学年が抱えている課題に対しても、このプラスの相乗効果がきっと発揮できるはず。こうした彼らの良さを引き出すこと、正しいことが正しくまかり通る環境を作ること、それが我々教師の責務だと考えております。私たちが気づけていないことは遠慮なくご指摘ください。今後ともよろしく願いいたします。